

2 - 1 1926 年以後東京で震度 V を観測した地震について

気象庁 地震活動検測センター

東京、横浜で観測した震度 V の地震についてはすでに報告したが¹⁾、東京では 1926 年以後、1931 年に 6 月 17 日 21 時 9 分と 9 月 21 日 11 時 20 分の 2 回があり、その後現在迄 39 年間発生していない。この 2 回の地震については最近地震課調査係によって震源が電計で再決定されたので、この資料によって、これら 2 つの地震の発生の前後の状況を解析した。

第 1 図は 1931 年 6 月から 9 月までの地震の月毎の震央分布で、6 月と 9 月の白丸は震度 V を観測した ⊕ 印の地震の前に発生したもの、黒丸が後に発生したものである。

第 2 図は 6 月 17 日 21 時 9 分の地震の発生前の状態をやや詳しく調べたものである。これによると震央分布は図の通りであるが、時間的には同図の左に示すように、まず、6 月 11 日 15 時 16 分に山梨県東部に $M = 5.9$, $h = 0$ km の地震が発生し、同日中に 2 回、13 日に 1 回、14 日に 1 回と小地震が続いて 17 日 21 時 9 分に $M = 6.4$, $h = 50$ km の ⊕ 印の地震が東京都中部に発生し、余震が 7 月迄時々発生して一応おさまった。この地震 1 つだけならばこのような地震の起り方は、17 日の地震の前の地震は前震とはっきりいえないまでも、時々起るケースであって珍しいものではない。

しかし、9 月になって第 3 図のように、16 日 21 時 43 分に 6 月 11 日に発生した地震と殆んど同じ位置に $M = 6.3$, $h = 0$ km の地震が発生し、同日中に 5 回、17 日に 3 回、18 日に 2 回、と地震が続いて、21 日 11 時 20 分に今度は埼玉県中部に飛んで $M = 6.9$ $h = 0$ km の所謂西埼玉地震が発生した。この 2 つの地震は、何れも山梨県東部から地震が発生し始めて数日後に 1 つは東京都中部に、他の 1 つは埼玉県中部に地震を発生させている点が、偶然としてはあまりにも偶然すぎるような起り方をしている。山梨県東部には最近でも時々地震が発生する集団があることは、「関東南部の地震活動とその変遷」²⁾の中で述べたが、このような地震が発生しやすい所では、1923 年の関東地震の 3 ヶ月前に常時地震の起りやすい鹿島灘で地震が群発したように、規模の大きい地震の発生前に、前震的に地震が誘発されるという現象が起こるのかも知れない。

これらの現象はまだ報告された例も殆んどなく未知の問題を沢山含んでいるが故に、将来の参考のためにあえて報告したものである。

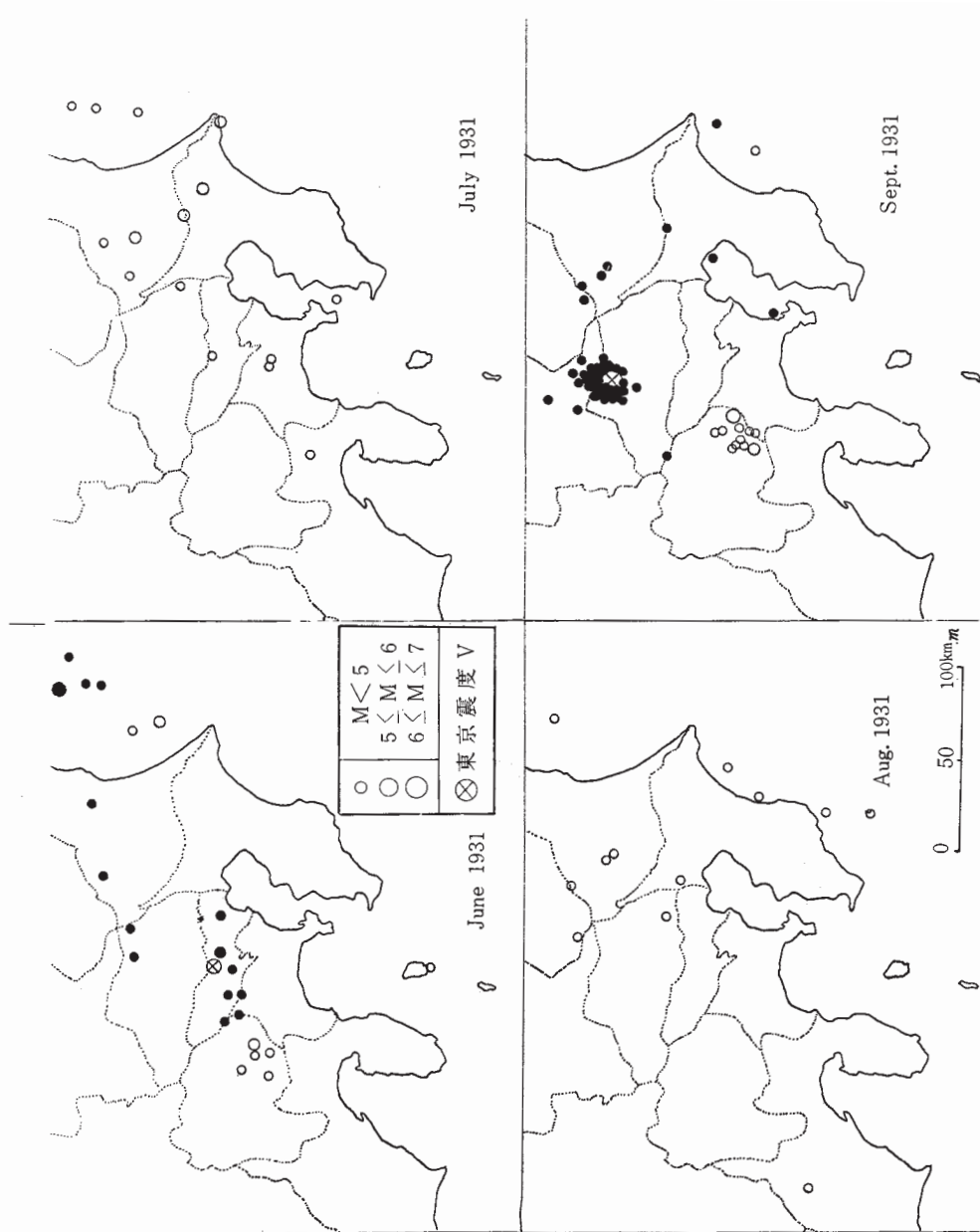
参 考 文 献

(1) 気象庁：東京、横浜における震度 V の発生について 地震予知連絡会報第 3 巻，1970 年

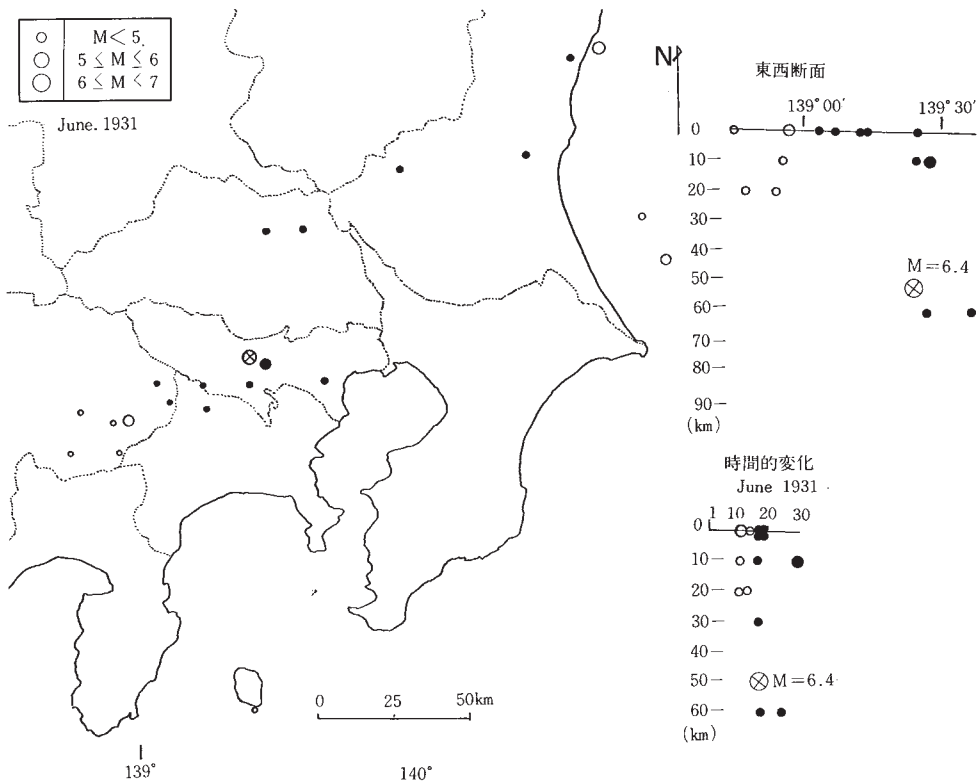
7月

(2) 関谷溥：関東南部の地震活動とその変遷 地震予知連絡会会報第4巻 1970年

第1図 1931年6-9月の震央分布図
⊕：東京で震度Vを観測した地震



第2図 1931年6月17日21時09分の地震の前後に発生した地震



第3図 1931年9月21日11時20分の地震の前後に発生した地震

